

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第8回津有区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

・副会長の選任について

(2) 報告事項（公開）

・新市建設計画の変更について

(3) 自主的審議事項（公開）

・津有区の特長を生かした地域活性化策について

3 開催日時

令和4年12月5日（月）午後6時30分から午後7時38分まで

4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：青木雄司、大滝英夫、千代金治、相馬祐一、中島 功（副会長）

藤本孝昭（会長）、古川勝夫、古川 仁（欠席3名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【山崎主事】

・会議の開会を宣言

・委員の欠員を補充するため、12月2日付で青木 雄司委員の任命があったことを報告

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【藤本会長】

- ・会議録の確認者：古川 勝夫委員
次第 2 議題「(1) 協議事項」の「副会長の選任について」に入る。
事務局より説明を求める。

【山崎主事】

現副会長から副会長の職を辞任したいとの申し出があったため、新副会長の選任を願いたい。

上越市地域自治区の設置に関する条例第 6 条の規定により、会長及び副会長は、委員のうちから選任することとなっている。

これまでは北部地区と南部地区からそれぞれ正副会長を選出していた。

【藤本会長】

今ほどの説明について、質問を求める。

【千代委員】

本日、現副会長が欠席だが決めてよいのか。

【小林センター長】

この間の面談を通して、辞任の意思は確認している。

【藤本会長】

では、立候補または推薦を求める。意見のある委員の発言を求める。

【千代委員】

私は中島委員を推薦する。

【藤本会長】

ただいま、中島委員という推薦があった。ほかに推薦や立候補する委員はいるか。

(発言なし)

では、中島委員を副会長とすることに賛成の委員は挙手願う。

(全員挙手)

本日より、中島委員に副会長をお願いしたいと思う。副会長は席の移動を願う。

(副会長席へ移動)

では、新副会長より一言挨拶願う。

【中島副会長】

- ・挨拶

【藤本会長】

以上で次第2 議題「(1) 協議事項」の「副会長の選任について」を終了する。

次に次第2 議題「(2) 報告事項」の「新市建設計画の変更について」に入る。

事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料1に基づき報告

【藤本会長】

今ほどの報告について、質問を求める。

(発言なし)

以上で次第2 議題「(2) 報告事項」の「新市建設計画の変更について」を終了する。

次に次第2 議題「(3) 自主的審議事項」の「津有区の特長を生かした地域活性化策について」に入る。

事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・町内会長との情報交換会の開催結果を報告
- ・意見を踏まえたアンケートの修正案及び実施時期を提案

【藤本会長】

まず、先日の町内会長との情報交換会の振り返りを行う。

委員より一言ずつ感想等をいただきたいと思う。

【古川 仁委員】

先日の会議では、パンフレットやアンケートなど、こちらの提案を了承いただき、よかったと思う。個人的に気がかりだったことは、最後のフリートークで「これに困っている」とか「こうしてほしい」という話があまり出なかったということである。

また、町内会長のお一人から、地域協議会の基本的な在り方に関する話があったことである。私はもう少し町内会長の主導権みたいなものがあってもよかったと思っている。

【古川 勝夫委員】

パンフレットについてもアンケートについても、全面的に町内会長から賛同してい

ただき、よかった。アンケート内容もこの通りでよいと思う。

【相馬委員】

アンケートについては、町内会長から協力していただけることになり、よかったと思う。

ただ、やはり町内会長は自分の町内のことを考えるのに対して、地域協議会委員は津有区全体のことを考えなければいけない。そのような状況で「各町内の問題を出してくれ」というのも、ばらばらになってしまうと思っていた。

また、先日の会議冒頭で、津有区の人口世帯データを事務局から説明してもらったが、それらの社会問題は私たちの手に負える話ではない。正直に言えば、田んぼを潰して団地でも造れば人は集まってくる。それは別にしても、魅力のある地域にすれば人は集まるのではないかと思っている。

【千代委員】

あの時配られた人口データは、あくまでも参考資料である。

石見銀山のある地域では、子ども連れの家族の移住が増えてきているとテレビで紹介されていた。あの辺りには古い歴史的な建物が随分残っていて、それが魅力らしい。

そういうことを津有でもできないか。相馬委員が言われたように、新しい団地を造れば人口は増えるが、それも20年しか持たないと思う。

そこを何とか考えていくと、私たちができることとしては、これまで考えてきているように、町巡りをするなどして活性化していくことだと思う。

また、古川 仁委員が言われたように、私も町内会長会と地域協議会の間に溝があるように感じた。まずは皆さんと意見交換をしながら、前島密を軸にして津有区で何かやっていくことが第一段階だと思う。

【藤本会長】

今の話を整理すると、相馬委員から話があったように、例えば人口減少については我々地域協議会では手に負える話ではない。それは町内会長にとっても同じだと思う。

その中で私たちは、津有区の魅力を発信することで何か力になればと思い、今まで議論してきたわけである。そんなことを町内会長の皆さんからも理解と協力をいただけたと私は受け止めている。

【大滝委員】

先日の会議では、アンケートの中身について、町内会長から「中郷区とでは比較に

ならないのではないか」という意見があったと思う。これに対する議論はこれからするの。

また、資料では地域協議会の認知度について問う設問が追加されているが、私の認識ではアンケートに入れてほしいということではなく、その場において私たちに問いかけたのだと思った。

それと、他の委員からも発言があったが、私たちが知らない地域の課題や話題が出ることを期待していたので、町内会長からそれが聞けず残念であった。

会議自体はよかったと思う。

【藤本会長】

アンケートの内容はこの後協議することになっている。

【青木委員】

先日の情報交換会で一番感じたこととしては、通常、会議をするときには予め会議資料を事前配布しておく必要があると思う。集まったその場で資料を見て意見を聞いても、実のある議論にはならないし、あまり噛み合わない。詳細資料は置いておいても、アウトライン的な資料は事前配布して、論点を明示しておいたほうが、短時間でも実りのある議論になるような気がする。

それと、先ほど他の委員が発言していたが、基本的に町内会長は自分の町内のことが最優先である。それだけで精一杯で、せいぜい広げても小学校区までである。実際に戸野目小学校区では、北部振興会という組織がある。

そのため町内会長は、なかなか同じように津有全体のことを考えるといったことはあまりやっていないと思う。

そういった意味で、地域協議会と町内会長会の役割分担や機能の違いがあまりよく分かっていない。個人的には津有区という括り自体どうなのかという意見である。

【中島副会長】

パンフレットについてもアンケートについても、概ねご理解いただけた。

ただ、実際のパンフレット作りについては、町内会長に主体的にお願いすることは難しいと思う。それこそ青木委員の話のとおり、町内会長は自分の町内を見るだけで精一杯で、地区全体のことを考えることはなかなか難しいと思う。これから私たちが考えていかなければいけないと思った。

【藤本会長】

私からも感想を述べる。

そもそも先日の会議の目的は、地域協議会委員だけでは見方が狭くなってしまうため、津有区を構成する各町内会長からお集まりいただき、私たちがこれからやろうとしていることについてご理解とご協力をいただくことであった。

その中で、何か一つでも私たちが普段思いつかないような発言があれば、ぜひ参考にしたいという思いがあった。そういう意味では、反対の意見も大事な意見である。

また、青木委員から指摘のあった資料の事前配布については、今後の工夫が必要だと思った。

各自の視点で感想を頂くことができ、今後の議論に有益な意見であったと総括する。

次に、提案のあったアンケートの修正案について審議する。

これについて、意見のある委員の発言を求める。

先ほど大滝委員からアンケートの修正に関する意見があったが、事務局から何か補足はあるか。

【小林センター長】

補足する。アンケートの設問についての意見が出ていた。一度こちらで預かるということにしていたため、大滝委員は今回修正案が示されると期待されていたのだと思う。

だが、正副会長と事務局の事前打合せの中では、確かに一人の町内会長から意見は出ていたが、逆を返すと、他の町内会長は異論がなかったという捉え方もできるということで、その部分は修正を行わなかった。

また、赤字で表示してある、地域協議会の認知度を問う設問については、町内会長からの提案を真摯に受け止め、追加している。

事務局としては、これらはいくまで今日のたたき台として示したものであり、固まったものではない。ここから議論をスタートしていただければと思う。

【藤本会長】

整理する。一つ目は赤字の部分である。

津有区地域協議会を知っているかどうかを問う項目である。

町内会長からも「認知度が低いのではないか」という声があったので、それをきちんと把握するという意味合いでも、これは必要な調査になると思う。

アンケートの本題の中に入れると異質な感じになるので、アンケートに入る前の質

問項目に入れている。意見を求める。

【青木委員】

先日の会議で、中郷区と同じ設問でよいのかという意見も出ていたが、住民アンケートである以上、人の生活はどこに住んでいても基本的には同じなので、中郷区と同じ内容で全然問題ないと思う。

それで最初の赤字の追加部分については、賛成であるが、米印以下の地域協議会の解説は除くべきだと思う。調査をするのに、答えを誘導するようなことは違うと思う。

【千代委員】

私も米印以下は省いてもよいと思う。私も過去3年間地域協議会委員をやってきたが、やはり認知度は低いと思う。

【藤本会長】

他に意見はあるか。

逆に言えば、この調査結果を見て、認知度が低いようであれば、今後の周知の方法を考えていかなければいけない。必要な調査として考えてよいか。

(よしの声)

ただし、米印以下の文言は載せないということによいか。

(よしの声)

1ページ目に地域協議会のことは述べてあるので、載せなくても問題はないと思う。

もう一つはアンケートの内容についてである。

大滝委員の言う通り、町内会長からは、中郷区と津有区では状況が違うから比較にならないのではないかという意見があった。

一方で、青木委員からは、立地しているところが違ってもベースは共通するからこのままでよいという意見があった。

これについて他の委員はどう考えるか。

【千代委員】

設問の選択肢の中には、津有区の中にある「前島記念館」や「保阪邸」も入っているが、中郷区のアンケートとほとんど同じ内容と考えてよいか。

【小林センター長】

そのような部分については、中郷区と全く同じということではなく、津有区オリジナルの選択肢も混ざっている。

【藤本会長】

形態を変えずに、設問は津有に合わせたということである。

先日の会議では、一人の町内会長から過去のアンケートの話があった。

【小林センター長】

それについては事務局から、過去の経過を説明する。

前期委員の活動の記録によると、過去にもアンケート調査を行ったことがあるようである。実施方法としては、紙での回収ではなく、地区だよりの中に二次元コードを載せて、ウェブ上で回答する形であった。

ただ、結果としては回答者が5人くらいで終わってしまったようである。

【青木委員】

統計的には一世帯一人の回答で十分なのか。

【小林センター長】

仮に世帯数を母数として考えた場合に、それが半分だったとしても信頼度はクリアしている。

【藤本会長】

そもそもこのアンケートは、その結果をもって何か物事を決めるということではなく、私たちが今後の津有区をどんな方向で考えていったらよいかを考える資料として用いるものである。

【千代委員】

前期のアンケート結果を聞くと、ウェブでの回答を求めるには、まだ早かったのだと思う。上の年代にとっては、まだまだアナログの世界なので、アンケートは紙でやったほうが回答率も上がると思う。

【藤本会長】

話は逸れるが、文科省のGIGAスクールで今の小中学校はほとんどがタブレットを活用している。PTAのアンケートも紙ベースではなくなってきた。次の世代の人たちはどんどんそういうことに慣れていっている。

今回の我々のアンケートは、紙ベースもウェブも両方取り入れることにしているので、その点は問題はないと思う。

【青木委員】

町内会で配るという話になると、圧倒的に紙ベースの方が回収率は高い。

【藤本会長】

アンケートの内容や回答方法については、資料のとおりでよいか。

(よしの声)

もう一つ、実施時期についてである。

事務局の提案では、2月末に広報上越と合わせて全戸配布し、3月上中旬頃に回収というスケジュールが示された。

各町内会の役員交代がある1月を避ける意味でも、2月末配布がちょうど良いと思うが、どうか。

(よしの声)

最後に、アンケート全体を通して何かあるか。

特に意見がなければ、この後の準備は事務局に一任したいと思うが、よいか。

(よしの声)

以上で次第2 議題「(3) 自主的審議事項」の「津有区の特長を生かした地域活性化策について」を終了する。

最後に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

— 日程調整 —

・次回の協議会日時：令和5年1月23日（月） 午後6時30分から

・会場：津有地区公民館 大会議室

・内容：自主的審議

その他、何かあるか。

(発言なし)

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690（直通）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。